

事業効果

新大宮バイパスは、東京～大宮間の人・物の移動を支える大動脈となっています。

新大宮バイパスは、増加する東京から大宮間の交通需要の半分を受け持つ。

首都高

新大宮バイパス

国道17号現道

昭和40年

昭和54年

昭和55年

昭和63年

平成6年

平成10年

平成17年

平成27年

224

153

462

144

4

152

261

468

146

273

405

130

半分は新大宮バイパス

現道は減少傾向

国道17号現道・新大宮バイパス・首都高の交通量変化(単位:百台/昼12時間)

新大宮バイパス周辺に物流・商工業施設が集積し、大型車がバイパスに転換。

埼玉県

東京都

国道17号現道

新大宮バイパス

国道17号周辺の卸売市場・工場・大規模商業施設の立地状況

更なる利便性向上へ

引き続き、交差点部の立体交差等を行い、スムーズな移動を支援していきます。

三橋3丁目

与野JCT

町谷1丁目

北町IC

さいたま市三橋地区の都市計画道路三橋中央通線との交差点で、立体化整備が都市計画決定されています。

新大宮上尾道路・さいたま新都心と接続し、東京都心へのアクセス機能を持つジャンクションです。

さいたま市町谷地区の都市計画道路道場三室線との交差点において、立体化整備が都市計画決定されています。

※IC・JCT名は仮称

大宮国道管内事業

もっとスムーズに、もっと快適に、街と暮らしをみんなで作りたい。

北町 IC 付近（埼玉県側から東京都側を望む（令和2年2月撮影）

新大宮バイパス

国道17号

事業概要

一般国道17号は、東京都中央区を起点として、埼玉・群馬両県を通り、新潟市に至る総延長372kmの主要幹線道路です。関東と北陸の文化、経済、産業の交流に昔も今も変わらない重要な役割を担っています。埼玉県において、戸田、さいたま、熊谷など各市を経由し、県央部を南北に縦貫する動脈として地域を支えています。

新大宮バイパスは、一般国道17号の混雑緩和を図るために計画されました。起点は東京都練馬区北町（一般国道254号接続）であり、板橋区、戸田市を経て、さいたま市吉野町で現道17号と接続する延長23.2kmのバイパスです。

昭和39年度の事業化以来、31年の歳月をかけて平成7年2月に全線開通しました。また、練馬区北町の起点から都道放射第35・36号線と接続し、都道環状八号・環状七号線と繋がります。

事業経緯			
昭和38年度	都市計画決定（埼玉県区間）		
昭和39年度	事業化		
昭和54年4月	新大宮バイパス（埼玉県区間）全線6車線で供用		
昭和60年3月	浦和・所沢立体（国道463号との立体交差）完成		
平成元年12月	高速埼玉中央道路の複断面構造等の都市計画変更		
平成4年度	美女木立体完成		
平成7年2月	板橋区四葉～大門間：暫定2車線供用		
平成10年5月	高速埼玉大宮線美女木JCT～与野間開通		
平成13年3月	田島立体供用		
平成28年度	新大宮上尾道路（与野～上尾南）事業化		

新大宮バイパスの構造

道路構造規格

区間：東京都練馬区北町三丁目～埼玉県さいたま市北区吉野町一丁目

延長：23.2km

規格：一般部第4種第1級

設計速度：60km/h

幅員：37.0m（4車線）、42.5m（6車線）

標準横断面

【4車線区間】

【6車線区間】

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所

〒331-9649
埼玉県さいたま市北区吉野町1丁目435番
Tel. 048-669-1204（工務課）
<https://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/>

新大宮バイパスについて▶ https://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/oomiya_index022.html

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所

2021.1

新大宮バイパス路線図

